

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策 I-1-2 ソフト系IT産業の振興
---------	----------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	産業振興課長 馬庭 正人	電話番号	0852-22-5291
----------	--------------	------	--------------

事務事業の名称	デジタルコンテンツ産業振興事業		
目的	(1) 対象	県内のデジタルコンテンツ制作企業	
	(2) 意図	事業が拡大し、デジタルコンテンツを活用したビジネスが進展する	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 地域のコンテンツ産業を担う人材育成を図るため、県内の企業やクリエイターに対して、プロデューサー及びクリエイター養成講座を開催する 地域のコンテンツを活用した新たなビジネスモデルを創出するため、県内企業に対して、コンテンツビジネス創出に係る経費の助成やデジタルコンテンツ機器の貸出を行う 		

2. 成果参考指標

(1) 指標名	本事業の参加者の満足度	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
		目標値			4.70	4.70	4.70	
式・定義	5段階評価の平均	実績値	4.60	5.00	5.00	4.89		
		達成率		106.40	106.40	104.10		%
指標名		年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
		目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	
式・定義		実績値	0.00	0.00	0.00			
		達成率		0.00	0.00			%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費 (b) (千円)	7,380	11,680
うち一般財源 (千円)	3,589	7,871

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

・近年ソーシャルメディアの浸透、デジタル技術をはじめとした様々な技術革新、スマートフォンやタブレットなどの新しいデバイスが登場する中で、新しいIT技術を駆使して、新しいビジネスモデルを創出でき、プロデュースする人材（プロデューサー）が必要となってきている。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

・ビジネスプロデューサー養成講座に14名が参加。事後アンケートでは、スキル向上に資する講座と高い評価を得た。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

・新たなビジネスモデル創出等によるデジタルコンテンツ産業の成長や拡大に繋がらない

②困っている状況が発生している「原因」

・新しいビジネスを創出できるプロデューサーが必要
・ビジネス化するうえで資金的に小規模な県内企業が多い

③原因を解消するための「課題」

・ビジネスへの展開に繋げることができる人材を育成する
・新しいビジネス創出に臨む県内企業の資金的な負担を軽減する

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

・養成講座に個別指導の内容を盛り込み、具体的なビジネスプラン構築を図る
・コンテンツ（映像・静止画・文章等）を活用した新しいビジネス展開に必要な経費の一部補助やデジタルコンテンツ機器の貸出を行う

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）